

平成30年度 栃木市広島平和記念式典中学生派遣報告会（H30.8.24）

「おわりに」 大出菜歩（西方）

今、お聞きいただいたように、私たちは、広島派遣の三日間で、多くの事を学ぶことができました。

73年前、日本でこんなにも恐ろしいことが起きていたなんて、思いもよらないことでした。

私達28名は、栃木市の平和大使として戦争の悲惨さ、残酷さ、そして大切な人達がいなくなってしまう孤独さ。それとともに、家族や友達がいて、笑顔で過ごせる幸せな日々のありがたさを感じることができました。

そして私達は、目で見、耳で聞いて、肌で感じてきたことを学校のみならず、多くの人々に伝えていかななくてはなりません。今もまだ心に深い傷を負っている人がいること、二度と核兵器を使ってはいけないこと、戦争はだれも幸せにならないことなど、これからもたくさんのお話を伝えていけるよう、頑張ります。

結びに私達のためにこのような機会をつくってくださった栃木市長様、市役所職員の皆様、広島で関わった全ての方々に心からお礼申し上げます。そして、「いってらっしゃい」、「おかえりなさい」と、明るく言ってくださった家族や先生方にも深く感謝しています。皆様、本当にありがとうございました。以上で私達の発表を終わりにします。